

ひきだし

農学研究科の青葉山キャンパス移転 煩わしさと楽しさと

酒井義文さん（農学研究科支部）

私が所属する農学研究科は、職組農学部支部もろとも来年度に青葉山へとキャンパス丸ごと移転することになっていて、その引っ越し作業の大変さについてはとても想像したくはないものですが、個人の家族でいうと、これまでにした引っ越しは結構な回数になりました。持ち家がないため、気軽に賃貸住宅を移ることができることが原因の一つなのかも知れません。職場が変わらないのに引っ越しは、これまで4回にもなります。

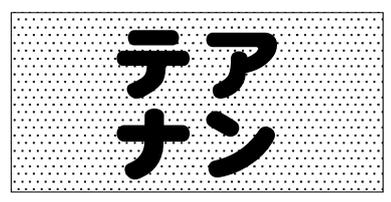
仙台では前の職場から引っ越してきた1回を除くとすでに2回の引っ越しをしています。1回目の引っ越しは、ちょうど引っ越し予定日の数日前に東日本大

震災というタイミングの悪さでした。部屋の片付けが半ば完了し閑散とした状況で、大地震により引っ越し日は未定となり、約1ヶ月に渡り中途半端に段ボール箱の山と一緒に暮らすことになったことは、今となってはいい思い出になったと思うように心掛けています。

仙台下では前の職場から引っ越してきた1回を除くとすでに2ヶ月ほどしてどこかの家族が住んでいるのを見たときはとても驚きました。引っ越しは様々な手続きなど煩わしさも

ありますが、個人的には楽しみな面もあります。大通りを何度も通ったことがあって慣れ親しんでいると感じていた地域であっても、いざ住んでみると、それまで知らなかった細かな路地の繋がりが方や点在する小さな店など次々と新しいことに気がつくことになります。そのような発見のたびに、

2回目の引っ越しは、オーナーの親族が住むから半年以内に立ち退いて欲しいとの連絡を不動産管理会社から告げられたことによりまです。昨年の暮れに立ち退いた後にその不動産物件は直ちに高値で売りに出され、2ヶ月ほどしてどこかの家族が住んでいるのを見たときはとても驚きました。引っ越しは様々な手続きなど煩わしさも



支部の便りコーナーです
情報をお待ちしております

病院支部 病院長交渉後も 粘り強く要求する

現在、看護師の年休消化を保障すること、年休消化可能な7・1看護要員の明確化と看護要員の確保の要求を掲げて交渉を進めている。病院長交渉後の追加資料提供の要求に対する回答は、必要看護要員数は明確にされず、雇用者の無責任さに労働者としては到底見過ごせないものでした。今後も粘り強く回答を求め交渉を行っていく予定です。



図書館支部 他部局と同じ5年 を要求

5年を超えれば無期雇用の権利が生まれる労働契約法改正を受け、東北大では更新上限5年の雇用期間を決めたが、図書館では3年という方針であるとのこと。組合本部と図書館支部の合同で図書館長交渉を行った。まずは、他部局と同じく雇用期間の上限を5年とすることを要求し、10月23日（金）までの回答待ちとなっている。これを機に5名が組合に入した。

工学研究科支部 芋煮会で交流

11月の昼休み時間に、支部恒例の芋煮会を予定しています。「労働契約法改正」による雇用期間の問題などの情報を話し合いながら交流を深めたいと考えております。

これからの日程

- 10/28 第8回憲法学習会（病院支部書記局）
- 10/30 鉄板焼きで組合誕生会（書記局）
- 11/4 退職者の会日帰り旅行（女川）
- 11/14-15 東北大学法学部模擬裁判（川内萩ホール）
- 11/21-22 全大教医大懇（岡山市）
- 1/9 新春囲碁大会（金研和室）
- 1/15 東北大学職員組合新春交流会（多元研）

編集後記

1面に掲載の通り、7月25日に新執行部が出発しました。執行委員がより元気に楽しく活動できるように皆で協力しましょう。コアもがんばります。

10月30日（金）は、組合の誕生会が企画されています。おいしい料理と歌を歌いながらお祝いする予定です。ぜひ参加してみてください。さい。（編）